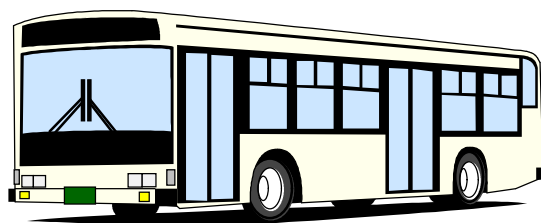
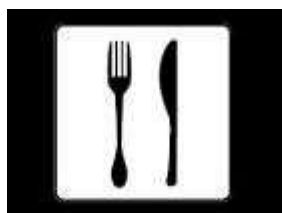


生活单元学习 指导内容表



平成28年度修正

大分大学教育学部附属特别支援学校

〈買い物〉

I 段階の児童生徒に望む姿

- ・家の人や教師と一緒に店（スーパーマーケット、コンビニエンスストアなど）や自動販売機に行き、好きなものを選んでお金を払う
- *お金を支払うどの場合でも、買い物に見合う額を渡されている

○まずは、買い物（欲しい物を得る）には、お金が必要だということを（ICカードにおいては、お金と同じ価値があるということを）指導していきたい。あわせて、買物の手順を指導する。

指導項目	指導内容	具体内容	
金銭の使用・管理	店	品物と引替にお金を払う	イ. お金を財布から出して渡したり、財布を直接渡したりする
		ICカードを扱う	イ. ICカードを、読み取り機にかざし、ポケットやカバンにしまう
		おつりを受け取る	イ. おつり（財布）とレシートを受け取る ロ. おつりとレシートを財布に入れる
	自動販売機	品物と引替にお金を払う	イ. 持っているお金を投入口に入れる
		ICカードを扱う	イ. ICカードを出して、読み取り機にかざし、ポケットやカバンにしまう
		おつりを受け取る	イ. 出てきたおつりを取る ロ. おつりを財布に入れる
仕組みの理解	店	手順を理解して、買い物をする	イ. 品物を選んだら、レジに行き、品物を出す
			ロ. 係員がいるレジに行く（並ぶ）
			ハ. レジに並んだ場合は、列の最後に並び、順番を待つ
			ニ. お金を払った後、品物が入った袋を受け取る（コンビニ）
			ホ. お金を払った後、品物（カゴ）を持って袋詰めする台に運ぶ（スーパー）
	ヘ. 品物をエコバックに入れる（スーパー）		
自動販売機	手順を理解して、買い物をする	イ. 持っているお金を硬貨投入口に入れる ロ. 選択ボタンを押す ハ. 出てきた品物を取る ニ. おつり用のレバーを回す ホ. 出てきたおつりを取る ヘ. おつりを財布に入れる	

* 「お金を財布に入れて持つ」「店内用カゴを使う」「店内で走り回ったり、騒いだりしない」「商品をむやみに触らない」「エコバッグを利用する」などといったようなことも、配慮的に指導する。

II 段階の児童生徒に望む姿

- ・大型商業施設やスーパーで欲しい物や頼まれた物を複数個、あるいは、複数の種類の物を銘柄や内容量などを見分けて一人で買う
- ・品物があるかわからないとき、店員に尋ねて買う
- ＊お金は、あらかじめ見合う分が用意されている

○一通りの買い物の手順は、理解できていると思われるので、決められた、あるいは、欲しい品物を確実に探すことができるようにしたいと考え、仕組みの理解を、まず取り上げるようにする。

※「金銭の使用・管理」については、I 段階の定着を図るようにする

指導項目	指導内容	具 体 内 容
仕組みの理解	売場を品物のまとまりごとに見分けて、目的の売場を探す	イ. 同じ仲間の品物を手がかりに、目的の品物がある場所を見つける ロ. 売場の違いを見分け、目的の売場を見つける ハ. 目的の品物がある売場を、列をのぞきながら探し、見つける
	売場ごとの品物の並び方を理解して品物を探す	イ. 陳列棚の端から端まで、上段から下段まで見て探す ロ. 買いたい銘柄を置いてあるところを探す
表示の理解	銘柄や値段表示、種類や内容量を見て、品物を選ぶ	イ. 銘柄、メーカーなどを見て選ぶ ロ. 種類表示(同一商品の味、香りなど)を見て選ぶ ハ. 内容量表示 (g、ml など) を見て選ぶ ニ. 値段表示を見て決められた値段の品物を選ぶ
		イ. 買う物の銘柄を書いて持っていく ロ. 買う物の銘柄、個数を書いて持っていく ハ. 買う物の銘柄、個数、種類、内容量、値段を書いて持っていく
メモの活用	必要なことを書いてメモを作り、持っていく	イ. 絵や写真、文字などで表したメモを見て品物を選ぶ ロ. 買う数のメモを見て同じ数だけ取る ハ. 種類、内容量、値段等のメモを見て、同じ種類、内容量、値段等の品物を選ぶ
	メモを見て、品物を選ぶ	イ. 店の人を探して、メモを見せ、「これをください」などと言って伝える ロ. 店の人を探し、「〇〇はありますか」などと尋ねる ハ. 「足りませんよ」と言うのを聞いてお金を追加して渡す
応 対	品物が見つからないときは店員に尋ねる	

※「金銭の使用・管理」については、I 段階の内容の定着指導を行う。

※実際指導では、「表示の理解」と「メモの活用」の内容を合わせて指導する場合が多い。

III 段階の児童生徒に望む姿

- ・スーパーや大型商業施設、デパートへ行き、自分の身の回りで必要なもの（衣料品なども対象）を新鮮さや安さに目を向けて、持っているお金の範囲内で効率良く買う

○児童生徒によって、最初に取り上げる指導内容は、変わってくるだろう。望む姿にも段階があるだろうと考えている。

指導項目	指導内容	具 体 内 容
金銭の使用・管理	予算や予定に合わせて、買う品物を選ぶ	イ. 持ち金内で、ほしい物の優先順位をつけて、違う品物を複数個選ぶ ロ. 運賃などの出費を除いた残金内で、品物を選ぶ
	いくらかかるかをおおよそ考えて、お金を用意する	イ. 買う品物の値段がはっきりしている場合、ちょうどより少し多目の金額を用意する ロ. 買う品物の値段がはっきりしていない場合、似たような品物から値段を推測し、少し多目の金額を用意する
	ポイントカードを利用する	イ. ポイントカードを差し出してポイントをもらう ロ. ポイントカードで支払いをする
表示の理解	品物の表示を見分けて、適切な用途に応じた品物を選ぶ	イ. 品物の大きさ表示(S, M, Lなど)を見て、選ぶ ロ. 賞味(消費)期限の表示を見て、選ぶ ハ. 成分表示を見て、選ぶ ニ. 産地を見て、選ぶ
	売場の案内表示を見て、目的の売場に行く	イ. 各売場ごと(列やコーナー)にある表示を見分け、目的の売場を探して行く ロ. デパートなどの各階ごとに、その階全体の売場表示を見分け、目的の売場を探して行く ハ. デパートなどの全体の売場案内表示を見分け、目的の売場を探して行く
	近所や途中にある目印を手がかりに目的の店を探して行く	イ. 知っている建物や看板などを手がかりにして、目的の店を探して行く ロ. メモや略図と実際の建物などを見比べながら、目的の店を探して行く
仕組みの理解	どの店に行くかを決める	イ. 必要なものがあるかないかで判断する ロ. 品物の種類の多さから判断する ハ. 複数のものが一度に買えるかで判断する ニ. どの店が安いか、高いかで判断する ホ. ポイントカードが使えるかで判断する
応 対	わからないときに店員に尋ねる	イ. 売場や支払場所を尋ねる ロ. 品物があるかどうかや値段を尋ねる ハ. 丁寧な言い方で尋ねる
メモの活用	品物を選んだ後、メモを見て確かめる	イ. 買い落とし(品物, 種類)がないかを調べる ロ. 買い間違い(種類, 大きさなど)がないかを調べる
目的に応じた準備・計画	目的や必要に応じて、何をどれだけ買うかを決める	イ. 日頃、使っているものがなくなりそうになったときに、買いに行く ロ. 何かをしたり、作ったりするときに、必要なものを考えて、足りないものなどを買いに行く ハ. 自分が使う(食べるなど)量を考えて、買う量を決める ニ. どのくらいの人数で使う(食べるなど)量かを考えて、買う量を決める

〈乗り物の利用〉

I 段階の児童生徒に望む姿

- ・ 家族や教師と一緒にバスや電車を利用し、その際、基本的な手順は覚えて、部分的に一人でする

○基本的な手順の仕組みの理解を、まず指導する。運賃を払うことは、手順の一つとして指導するが、同時に、乗り物を利用するにはお金が必要であるという金銭の価値についても指導する。

指導項目	指導内容	具体内容
仕組みの理解	列に並んで待ち、降りる人が出てしまってから、乗る	イ. ホームの黄色い線の内側で待つ（電） ロ. 乗降口の列に順番に並んで待つ（バ電） ハ. 降りる人が出てしまってから乗る（電）
	乗降口から乗り降りする	イ. 乗降口から乗り降りする（電） ロ. 乗り口から乗り、降り口から降りる（バ） ハ. 乗車したら、ICカードをポケットやカバンにしまう（バ電） ニ. 降車するバス停や駅が近づいたら、ICカードを準備する（バ電）
金銭の使用・管理	整理券や切符を扱う	イ. 乗り込む際に、整理券機から整理券を取る（バ） ロ. 降りる際に、運賃箱にお金（回数券）、整理券を入れる（バ） ハ. 降りる際に、運賃箱に回数券を入れる（バ） ニ. 乗る駅の改札口で、切符を駅員に渡して、受け取る（電） ホ. 乗る駅の改札口で、切符を自動改札機に入れ、受け取る（電） ヘ. 降りる駅の改札口で、切符を駅員に渡す（電） ト. 降りる駅の改札口で、切符を自動改札機に入れる（電）
	ICカードを扱う	イ. 乗り込む際に、読み取り機の中央にICカードをかざす（バ電） ロ. 降りる際に、読み取り機の中央にICカードをかざす（バ電）
	運賃を払う	イ. 用意しているお金を運賃箱に入れる（バ）

* 「空いた席に座る」、「吊り革につかまる」、「車内で静かにする」などについての指導は、配慮的に指導する。

II 段階の児童生徒に望む姿

- ・ 仕事先や友だちの家など（市内及び市近郊）決まった区間の行き帰りに、バスや電車を一人で利用する

○バスや電車を一人で利用するときに、まず、最初にできてほしいことは、目的地で降りることである。その後、切符を買ったり（電車）、運賃を払える（バス）ようにしていく。

指導項目	指導内容	具体内容
仕組みの理解	目的地で合図をして降りる	イ. 車内放送を聞き取り、降車ボタンを押して降りる（バ） ロ. 車内放送を聞き取り、降りる（電）
	切符を買いに行く	イ. 切符を買いに自動券売機を探して行く（電） ロ. 切符を買いに窓口に行く（電）
金銭の使用・管理	運賃を払う	イ. 財布からお金を出し、決まった区間の運賃をそろえて整理

管理		券と一緒に運賃箱に入れる（バ ロ. 自動券売機で、お金を入れ、決まった区間の運賃ボタンを 押し、おつりや切符を取る（電
表示の理解	表示を見て運賃を 調べる	イ. 自動券売機の運賃表示を見て目的のボタンを見つける（電
	目的の乗り場やバ スを探す	イ. 行き先の表示や番号を見て乗るバスを探す ロ. 改札口の表示（矢印やストップマーク）を見て、通行可能 な改札口を選ぶ
応 対	窓口で行き先を告 げる	イ. 行き先を表示したメモを出して「切符を下さい」と告げる (電

Ⅲ段階の児童生徒に望む姿

- ・時刻・時間、または、料金などを考えて計画的に乗り物を利用する

○仕組みを理解して一人で乗れるようになっているので、時間や金銭のことを考えて計画的に乗れるよう
うする。

指導項目	指 導 内 容	具 体 内 容
金銭の使用	持ち金の中から、 料金を払う	イ. 運賃表の運賃を持ち金の中からちょうどそろえて払う ロ. 両替機を利用して料金をそろえる ハ. 自動券売機にちょうど金額を入れ、券を買う ニ. 自動券売機にお金を入れ、券を買い、おつりを取る ホ. 残金が少なくなったら、ICカードにチャージする
表示の理解	運賃を調べて券を 買う	イ. 運賃表から、運賃を読み取る（バ ロ. 運賃表を見て、目的地までの運賃を見つける（電 ハ. 路線図式の運賃表から運賃を探し、自動券売機や窓口に行く （電
	路線や乗り場、乗 り物を探す	イ. 行き先の表示や時刻表を見てバス停を探す ロ. 路線図を見て、乗り降りするバス停や駅を探す ハ. 路線図を見て、利用する路線やバス、電車を探す ニ. 車両表示から、乗る電車を読み取る ホ. 番号表示を見て、ホームを探す（電 ヘ. 電光掲示板、モニター表示などから乗り場（ホーム）を探す ト. 切符の座席番号を確認して、席を探して座る
時刻・時間	発車時刻を調べる	イ. 時刻表と時計を見比べ発車時刻を読み取る
	時刻に応じた活動 をする	イ. 決まった時刻に出発する ロ. 発車までの時間を考え、出発する ハ. 待ち時間を調べる
応 対	目的地までの行き 方を尋ねる	イ. 行き先、ホーム、降りる駅を聞く ロ. 発車時刻や所要時間を聞く ハ. 目的の駅名や枚数を告げる（電 ニ. 料金を聞く ホ. 交通手段や乗り場を聞く

〈日程の計画〉

- ◆ I 段階の児童生徒は、将来的に見ても日程の計画を立てて生活するということは考えにくいので、指導内容としては設定しないことにしている。

II 段階の児童生徒に望む姿

- ・ 退勤後や休日、長期的な日程の計画において、すべきことやしたいことを、日常生活の流れやこれまでの経験から、活動に優先順位をつけ、日程の計画を立てる

指導項目	指導内容	具 体 内 容
時刻・時間	決まった活動（起床や出発など）の開始の時刻を決める	イ. 日常生活の流れやこれまでの経験から、開始の時刻を決める
目的に応じた準備・計画	朝食、身支度などしなければいけない活動を考える	イ. 日常生活の流れやこれまでの経験から、しなければならない活動を考える
	決まった活動の順番を決める	イ. 日常生活の流れやこれまでの経験から、活動の順番を決める
	空いた時間に、したいことを考える（余暇）	イ. 興味・関心から、したいことを考える
	出勤日と休日を調べる	イ. 勤務表とカレンダーを見て調べる

III 段階の児童生徒に望む姿

- ・ 退勤後や休日、長期的な日程の計画において、すべきことやしたいことを、これまでの経験や情報をもとにし、活動の優先順位や活動及び移動等にかかる時間、他者の事情等も考慮し、日程の計画を立てる

〈1日の流れに沿って計画を立てる〉

指導項目	指導内容	具 体 内 容
時刻・時間	活動の開始の時刻を決める	イ. 時間に応じて、したいことを考える
		ロ. 活動の場所から、したいことを考える
活動にかかる時間を考える	活動にかかる時間を考える	ハ. 活動を順番に並べて、開始の時刻を決める
		ニ. 優先順位をつけてすることと、しないことを考える
		イ. これまでの経験から、活動にかかる時間を考える
目的に応じた準備・計画	予定や目的に合わせた活動を考える	ロ. 開始時刻、終了時刻などから、活動にかかる時間を考える
		ハ. 活動の量から、かかる時間を考える
		イ. 家事の中で、家事の進み具合から、しなければいけない活動を考える

画	活動の順番を決める	ロ. 優先順位をつけてすることと、しないことを考える
		イ. 時間がかからない順番で、決める
		ロ. 金額がかからない順番で、決める
		ハ. 利用先の事情等を考慮して、順番を決める

<余暇活動（お出かけ）の際の計画を立てる>

指導項目	指導内容	具 体 内 容
目的に応じた準備・計画	目的地を決める	イ. したいことやこれまでの経験から目的地を決める ロ. 余暇に使える時間から目的地を決める ハ. 予算から目的地を決める ニ. いずれの天候でも利用が可能な目的地を決める
	したいこと（娯楽）をいつするか決める	イ. したいことのかかる時間をもとに、いつするか決める
	目的地までの移動手段（活動と順番）を決める	イ. パンフレットやホームページなどを見て、バスや電車の利用が可能か考え、決める ロ. 地図を見て、移動の手段を決める ハ. 地図や交通機関の路線図をもとに、バスや電車の利用が可能か考え、決める
	予定や目的に合わせた活動を考える	イ. 家事の中で、しなければいけない活動を考える ロ. 優先順位をつけてすることと、しないことを考える
	活動の順番を決める	イ. 時間がかからない順番で、決める ロ. 金額がかからない順番で、決める ハ. 利用先の事情等を考慮して、順番を決める
	変更（急用・天候など）があれば、延期したり、中止したりする	イ. 急用や天候に応じて、予定を中止する ロ. 予定を変更した場合は、いつするか決める
	時刻・時間	活動の開始の時刻を決める
活動にかかる時間を考える		イ. これまでの経験から、活動にかかる時間を考える ロ. 開始時刻、終了時刻などから、活動にかかる時間を考える ハ. 活動の量から、かかる時間を考える ニ. 集めた情報から、かかる時間を考える
移動にかかる時間を考える		イ. これまでの経験から、移動にかかる時間を考える ロ. 出発時刻、到着時刻などから移動にかかる時間を考える ハ. 交通手段、距離、乗り換え等を考慮して、移動にかかる時間を考える ニ. 交通機関の時刻表を基に、移動にかかる時間を考える

〈金銭の計画〉

- ◆ I 段階の児童生徒は、将来的に見ても金銭の計画を立てて生活するということは考えにくいので、指導内容としては設定しないことにしている。

II 段階の児童生徒に望む姿

- ・もらった給料（お小遣い）から、必要な物、欲しい物を考え、場合によっては貯めて、予算の範囲内で、買う物の計画を立てる

指導項目	指導内容	具 体 内 容
金銭の使用・管理	予算内かどうか判断する	イ. 必要な数買った場合に、合計の金額がいくらになるか計算し、予算内かどうか判断する
	収支を記録する	イ. 給料明細やレシートを見て、収入や支出の金額を記録する
	ICカードを利用する	イ. バスや電車の乗降時に、ICカードを読み取り機にかざして、確認音を聞いて、離す ロ. コンビニでの買い物で、店員のことばかけを受けて、支払機にタッチし、タッチできたことを確認する ハ. 財布やバッグにしまう
表示の理解	商品の値段を想定したり、調べたりする	イ. お店に行って、品物の値段を調べる
		ロ. 広告を見て、品物の値段を調べる
		ハ. インターネットで、品物の値段を調べる
目的に応じた準備・計画	買うものの優先順位(本当に必要なものかの判断も含む)を付ける	イ. 必要なものやしたいことが、残金や必要性から、本当に必要か決める
		ロ. 必要な物やしたいことの中で、優先順位を付ける

Ⅲ段階の児童生徒に望む姿

- ・もらった給料から、支出の内訳を考え、内訳ごとにどのくらいいるか予算を立て、予算の範囲内で、何をどのくらい買うか計画を立てる

【

指導項目	指導内容	具 体 内 容
金銭の使用 ・管理	支出に必要な内訳を決める	イ. 市販の家計簿などを見て決める ロ. 前月の支出から内訳を決める
	必ず必要な経費の部分の予算を立てる	イ. 決まった額（家賃、利用料など）の予算を立てる ロ. 水道代や電気代、電話代など、前月の支出を見て予算を立てる
	食費や生活用品費等の予算を立てる	イ. 食費や生活用品費など、前月の支出からどのくらいかかるか調べる ロ. 週当たりや日当たりで必要な金額を計算する
	貯金と娯楽費の予算を立てる	イ. 必要な経費や食費、生活用品費などを除いた金額を計算する ロ. 貯金と娯楽費の予算を立てる
	予算に応じた計画を立てる	イ. 優先順位（好み・質・内容量など）をつけ、品物を選ぶ ロ. 予算を超える場合は、優先順位の中で、安いものに変更する ハ. 予算を超える場合は、優先順位の中で、買う数(量)を減らす ニ. 予算を超える場合は、優先順位の中で、買う種類を減らす
	収支を内訳ごとに記録する	イ. 給料明細やレシートを見て、内訳ごとに、収入や支出の金額を記録する ロ. 毎月、収入や支出の合計を内訳ごとに計算し記録する
	ＩＣカードの残高が活動に見合うようにする	イ. 定期的にＩＣカードの残高を確認し、コンビニ、バスや電車のチャージ機で入金（チャージ）する ロ. ＩＣカード使用後に、ＩＣカードの残高を確認する ハ. 活動内容と残高によっては、使用前に入金（チャージ）する
	目的に応じた準備・計画	目的や必要に応じて、何をどれだけ買うかを決める
残金は貯金したり翌月に繰り越したりする		イ. 全体の収支を見て、預貯金するか繰り越すか決める

〈〇〇会への参加〉

- ◆「〇〇会への参加」は、他の9つの生活場面とは、質がずいぶんと異なったものとなっている。他の9つは「それぞれの生活場面における一連の活動」が、ほぼ決まっているのに対し、「〇〇会への参加」は、「〇〇会」がどんな催しであるかによって活動が様々に変化するためである。そのため、指導内容表作成に際しては、他の生活場面のように細かな「具体内容」まで設定することが困難なので、指導内容のみ記述している。

I 段階の児童生徒に望む姿

- ・家族や教師、友だちなどと一緒に会に参加したり、家族や教師と一緒に自分の役割を果たしたりする

- 家族や教師と一緒に、会に参加する、友だちと行動をともにする、簡単な分担の役割や仕事を教師(家族)の指示に従ってするように指導したい。

指導項目	指 導 内 容
応 対	・教師(家族)の誘いに応じて、教師(家族)と一緒に、会に参加する ----- ・教師(家族)の誘いに応じて、友だちと一緒に会に参加する
分担・協力	・分担した役割や仕事を、教師(家族)と一緒にしたり、部分的に一人でしたりする

II 段階の児童生徒に望む姿

- ・自分から進んで会に参加したり、友だちと話し合って仕事を分担したり、自分の役割や仕事を最後までしたりする

- 自分から進んで会に参加し、分担した役割や仕事を果たす、友だちと話し合うなかで、自分の希望や意見を少しでも述べる、目的の活動に必要なものを選んで準備することなどを指導する。

指導項目	指 導 内 容
分担・協力	・分担した役割や仕事を理解して、進んで取り組み、最後まできちんとする
応 対	・話し合いの時は、自分の希望や意見などを言う
目的に応じた 計画・準備	・目的の活動に必要なものを選んで準備する

Ⅲ段階の児童生徒に望む姿

- ・友だちと話し合っってどんな会にするか計画を立てたり、目的の活動に必要なものの準備を分担したりする。また、分担に沿って協力したり、仕方を工夫したりしながら仕事を進める

○友だちと話し合っって、仕事や役割を分担し協力して進める、友だちと話し合っって目的に応じた活動の計画を立てる、全体のことを考えて、希望を主張したり譲り合っって折り合いをつけたりすることなどを指導する。

指導項目	指導内容
応 対	・自分の意見や希望などを相手にわかるように、理由を述べるなどきちんと言う ・会のためのいろいろな役割や仕事を、友だちと話し合っって分担して行う
分担・協力	・全体のことを考えて、意見を主張したり、譲り合っったりして決める ・自分の分担した仕事などを、仕方を考えたり、工夫したりして行う
目的に応じた 準備・計画	・会の目的に沿っってどんなことをしたらよいかを考え、友だちと話し合っって決める ・目的の活動に沿っってどんな物を準備すればよいかを考えて準備する

〈飲食店の利用〉

- ◆ 飲食店の仕組みや注文・支払いの仕方は様々であり、ファミリーレストラン、大規模商業施設内にあるフードコート、ファーストフード店、ビュッフェ形式の飲食店、回転寿司店、喫茶店、食券の購入を必要とする飲食店、セルフサービスの飲食店等を想定し、それらの飲食店の仕組みや注文・支払いの仕方等を網羅するように指導内容、具体内容を設定した。

I 段階の児童生徒に望む姿

- ・ 家の人や教師と一緒に飲食店に行き、見本を見ながら食べたいものを選んだ後、財布からお金を出し、食券を求めたり、支払いをしたりする
- ・ 自分の食べたいものを見本やメニュー表（写真付）から選んで、指さす

* お金は、あらかじめ見合う分が用意されている

○ まず、飲食店ではお金が必要だということを指導していきたい。あわせて、利用の手順を指導する。

指導項目	指導内容	具体内容
金銭の使用・管理	食券や料理と引替にお金を払ったり、受け取ったりする	イ. お金を財布から出して渡したり、財布を直接渡したりする ロ. おつりとレシートを受け取る ハ. おつりとレシートを財布に入れる
	ICカードを扱う	イ. ICカードを出して、読み取り機にかざし、ポケットやカバンにしまう ロ. レシートを受け取り、財布に入れる
仕組みの理解	食券や料理を取り、自分の席に運ぶ	イ. 列の最後に並び、順番を待つ ロ. 食券を店員に渡す ハ. 料理を受け取り、自分の席に運ぶ ニ. 食べたい料理を皿に取り、自分の席に運ぶ
	食べ終わったら支払いや片づけをする	イ. レジで支払いをする ロ. 返却口に食器やトレイを運び、片づける
応 対	食べたいものを選ぶ	イ. 食べたいものを見本から選んで指さす ロ. 食べたいものをメニュー表から選んで指さす

* 「渡されたお金を、財布に入れて持つ」「空いているテーブルにすわる」「店内で走り回ったり、騒いだりしない」などは、配慮的に指導する

II 段階の児童生徒に望む姿

- ・ 家の人や教師と一緒に行って、利用する
- ・ 見本やメニューを見ながら食べたいものを選んだ後、食券売場に行き、「〇〇を下さい」と店員に告げたり、計算書をレジに持っていき、支払いをしたりすることができる

* お金は、あらかじめ見合う分が用意されている。

○ 注文や支払いができるように、仕組みの理解と応対を指導する。

指導項目	指導内容	具体内容
仕組みの理解	食べたい物を選ぶ	イ. お店のメニューを見て注文する店を決める ロ. 見本やメニュー表から注文するメニューを決める ハ. 料理を見て食べたいものを決める
	注文などの仕方がわかり、食事をする	イ. 券売機に行き食券を求め、食券を店員に渡す ロ. メニュー表を見て店員に注文する ハ. 呼ばれたら料理を受け取りに店やカウンターに行く ニ. 食べきれぬ量だけ皿に取る
	食べ終わったら、支払いや片づけをする	イ. 食べ終わったら、計算書をレジに持って行き、支払いをする ロ. 注文したお店の返却口に食器やトレーを運び片づける
応 対	店員に料理名を伝える	イ. 店員に「〇〇を下さい」と食べたいものを言う
	店員に会計を伝える	ロ. 店員に「会計をお願いします」と、会計を伝える

* 「金銭の使用・管理」については、Ⅰ段階の内容の定着指導を行う

Ⅲ段階の児童生徒に望む姿

- ・一人で飲食店を利用する
- ・自分の持っているお金を考え、予算の範囲内におさまるように、料金表示を見て食べるものを決める

○Ⅲ段階では、一人で利用するための仕組みの理解や計画的な金銭使用を取り上げる。

指導項目	指導内容	具体内容
金銭の使用・管理	言われた金額に見合うお金を払う	イ. ちょうどのお金を払う ロ. 多目の金額を考えて払い、おつりをもらう
	予算や予定に合わせて食べるものを決める	イ. 持ち金の範囲内で食べるものを決める ロ. 食事以外の出費を除いた残金で、食べるものを決める
表示の理解	見本やメニューの料金表示を見て調べる	イ. 見本の料金表示を見て、料金を調べる(税込・税抜) ロ. メニューの料金表示を見て、料金を調べる(税込・税抜)
仕組みの理解	注文の仕方がわかり、食事をする	イ. 注文の際、ベルを鳴らしたり、近くの店員にわかるように手を挙げたりして、店員を呼び注文する ロ. 近くに店員がいない場合、手を挙げ「すみません」と厨房の方へ言葉をかけ、店員を呼び注文する ハ. 注文したいものを注文票に書き込んで店員に渡したり、タッチパネルで注文したりする(回転寿司)
	片づけの仕方がわかり返却口での片づけをする	イ. 返却口で飲み残し、プラコップ、燃えるゴミなどを仕分けして片づけをする ロ. テーブルを台ふきで拭く
応 対	食べたいものを正確に伝えたり、わからないことを尋ねたりする	イ. 食べたいものを、正確に店員に伝える ロ. 食べたいものがあるかどうかや値段について尋ねる ハ. 丁寧な言い方で伝えたり、尋ねたりする
目的に応じた準備・計画	目的に応じてお店やメニューを選ぶ	イ. 朝食、昼食、夕食のどの食事を考えて、お店やメニューを決める ロ. 一日の食事のバランスを考慮して、お店やメニューを決める

〈娯楽施設の利用〉

- ◆娯楽施設は多様化しており、利用したい施設は人それぞれであるが、遊園地、ボウリング場、カラオケ店、温泉施設、体育館、プール、映画館、水族館、美術館、博物館、図書館、CD・DVDレンタル等を想定し、それら娯楽施設の仕組みや支払いの仕方等を網羅するように指導内容、具体内容を設定した。

I 段階の児童生徒に望む姿

- ・家の人や教師と一緒に娯楽施設の窓口まで行き、お金を支払い利用する
- *お金は、用意されたものを持っている

- 施設を利用するには、お金が必要なことを指導したいが、“券”を媒介としている場合が多いので、券が必要なことを指導してから、お金が必要なことを理解できるようにしていきたいと考えた。そこで、まず、仕組みの理解を先に取り上げたい。

指導項目	指導内容	具体内容
仕組みの理解	券やお金を係員に渡して、入場する 券売機や窓口で券を買う	イ. 券を係員に渡して、入場する
		ロ. お金を係員に渡して、入場する
		イ. 券売機にお金を入れ、出てきた券を取る
		ロ. 受付で係員にお金を渡し、券を受け取る
金銭の使用・管理	券売機や窓口で券を買ったり、受け取ったりする	イ. 券売機の硬貨投入口にお金を入れる
		ロ. 窓口にお金を払う
		ハ. 券売機から出てきた券とおつりを取る
		ニ. 券とおつりを財布に入れる

CD・DVDレンタル

仕組みの理解	手順を理解して、レンタルをする	イ. 品物を選んだら、レジに行き、品物を出す
		ロ. 係員がいるレジに行く（並ぶ）
		ハ. レジに並んだ場合は、列の最後に並び、順番を待つ
		ニ. お金を払った後、品物が入った袋を受け取る

II 段階の児童生徒に望む姿

- ・娯楽施設の近くに家の人や教師がいて、券を買う、お金を渡す、申込書に記入して渡すなどして利用する
- ・簡単な施設（トイレ等）を探し、利用する

- 施設の利用の手順は理解できていると思われるので、まず、値段表示を見てお金をそろえることを取り上げる。

指導項目	指導内容	具体内容
仕組みの理解	券売機の使い方を理解して券を買う	イ. 券売機にお金を投入した後、選択ボタンを押して、出てきた券を取る
	時間を守る	イ. 時間がきたら、活動をやめる
表示の理解	表示を見て、料金やサービスの内容を調べたり、	イ. 値段表示を見て、利用料等の金額を調べる
		ロ. 表示を見て、サービスの内容を調べる

	トイレや目的の場所等を探したりする	ハ. 表示を見て、トイレや目的の場所等に行く ニ. 案内図を見て、目的の場所を探して行く ホ. 案内板に従い、目的の場所へ行く ヘ. 順路の表示に従い、鑑賞する
応 対	したいことを告げたり、相手の質問に応じて答えたりする	イ. したいことを伝える ロ. 必要事項を書いたメモを出して、「書いてください」と伝える

CD・DVDレンタル

仕組みの理解	手順を理解して、CDやDVDをレンタルをする	イ. 借りたい物を選んだら、レジに行き、借りたい物と会員カードを出す ロ. 係員がいるレジに行く（並ぶ） ハ. レジに並んだ場合は、順番を守る ニ. お金を払った後、会員カードと借りたい物を受け取る
	期日を守る	イ. 期日までに、返却する

Ⅲ段階の児童生徒に望む姿

- ・ 近くにある遊園地や映画館、美術館などに友達と一緒にいき、遊ぶ
- ・ 持ち金（使えるお金）の範囲内で遊んだり、所要時間を考えたりするなどして行動する

○児童生徒によって、最初に取り上げる指導項目は変わってくるだろう。しかし、まず、計画的な金銭使用を取り上げることが望ましいと考える。

指導項目	指導内容	具 体 内 容
金銭の使用・管理	予算や予定に応じ、計画的にお金を使う	イ. 料金体系(フリーパスや回数券等)を理解し、残金や予算に応じて買う ロ. 料金体系(フリーパスや回数券等)を理解し、予定に応じて買う
仕組みの理解	受付をする	イ. 申し込み書に必要事項を記入し、係員に渡す
表示の理解	料金やサービスの内容を調べる 位置を調べて行く	イ. インターネットで料金やサービスの内容を調べる イ. スクリーン番号や座席番号を確認して、席を探して座る
時刻・時間	時刻や時間を考えて遊ぶ	イ. 開園(館・店)時間、閉園(館・店)時間、遊ぶ時間などを、考えて1日の予定を立てる ロ. バスや電車の時刻に間に合うように出発する ハ. ショーやイベント、待ち時間等を考えて、効率よく遊ぶ
応 対	わからないときは、人に尋ねる	イ. 相手の質問に応じて、利用人数や時間等を伝える ロ. 料金体系、利用方法、場所などを尋ねる ハ. 丁寧な言い方で尋ねる

CD・DVDレンタル

仕組みの理解	期日を守る	イ. 返却日を確認して、期限までに返却する ロ. 期日をすぎたら、延滞金を払う
--------	-------	--

〈電話の利用〉

- ◆ I 段階の児童生徒は、将来的にみても電話を使って生活するということは考えにくいので、指導内容としては設定しないことにしている。
- ◆ II 段階の児童生徒には、固定電話と携帯電話の基本的な着信・発信を、III 段階の児童生徒には、固定電話と携帯電話（メールの送受信の仕方）を扱うようにする。

II 段階の児童生徒に望む姿

- ・電話に出て受け答えをし、場合によっては、家の人にとりつぐ
- ・身近な人に電話をかけ、簡単な用件を相手に伝える

○上記のような電話の利用ができるようにするためには、まず、電話の基本的な対応の仕方を身につけるようにする。次に、電話のかけ方（仕組みの理解）を理解できるようにし、電話を使うことに慣れるようにする。

【II 段階・固定電話の利用】※電話をかける相手は、決まった人のみを想定

指導項目	指導内容	具 体 内 容
応 対	基本的な電話の対応をし、電話をとりつぐ	イ. 電話のベルが鳴ったら、受話器をとって、自分の姓を名乗り、相手の名前を尋ねる ロ. 自分にかかった時以外は、かかった人に、誰からか伝えてとりつぐ ハ. とりつぐ家人が不在の場合には、不在なので電話をかけ直してほしいことを伝えるか、他の家人にとりつぐ ニ. 相手が出たら、自分の名前を言い、相手を確認してから用件を伝える ホ. 電話番号を間違えてかけた場合には、「間違えました」と言って切る
仕組みの理解	電話番号を、押して電話をかける	イ. 『（受話器をとって発信音を確認する）→ 相手の電話番号を順番に押す（電話帳で相手の電話番号を検索する）→（オフフックボタンを押す）→ 呼び出し音がしたら、相手が出るまで待つ』という手順で電話をかける ロ. 話し中の時は、受話器を置き（オンフックボタンを押して）、しばらくしてからかけ直す ハ. 電話をとりつぐときには、受話器を電話機の横に置く ニ. 電話を切るときには、静かに受話器を置く
メモの活用	メモを書いたり、見たりして電話をする	イ. かける前に、相手の番号をメモする ロ. 番号を書いたメモを見て、ボタンを押す

【II 段階・携帯電話の利用】※電話をかける相手は決まった人のみを想定

指導項目	指導内容	具 体 内 容
仕組みの理解	電話帳や履歴から電話番号を確認して発信する	イ. 電話をかけるときは、立ち止まって邪魔にならないところへ移動して、電話帳や履歴からかけたい相手を選び、発信する

Ⅲ段階の児童生徒に望む姿

- ・メモを活用するなどして要領良く用件を伝える
- ・電話を受け、かかってきた人が留守の時は相手の名前と電話番号を尋ねてメモしてから電話を切り、帰ったらメモを渡して伝える
- ・電話番号がわからない時は番号を調べてメモをする
- ・電話帳を利用して、発信したり、メールを送信したりして、用件を伝える

○上記のような電話の利用ができるようにするためには、電話を受けた場合の適切な対応の仕方やメモの活用、番号やアドレスの調べ方などを指導していくことにしている。

【Ⅲ段階・固定電話の利用】

指導項目	指導内容	具 体 内 容
仕組みの理解	番号がわからないときは、調べる	イ. 家庭用のアドレス帳で番号を調べる ロ. インターネットで電話番号を調べる
応 対	時と場合に応じて、適切な対応をする	イ. かかってきた人が不在の時は、留守であることを告げて相手の名前と電話番号など、決められた項目について、丁寧に尋ねる ロ. 用件を相手にわかるように、簡潔に話す ハ. 伝言を受ける場合には、復唱して確認する ニ. 間違い電話をかけた場合には、「すみません、間違えました」と謝ってから電話を切る
メモの活用	必要に応じてメモを書いたり、見たりして電話する	イ. 必要に応じて相手の名前や電話番号をメモしておく ロ. 用件をメモしておき、それを見ながら要領よく話す ハ. 決められた項目に沿って聞き取った内容について、簡潔にメモを取る

【Ⅲ段階・携帯電話の利用】

指導項目	指導内容	具 体 内 容
仕組みの理解	電話帳に電話番号やアドレスを登録する	イ. 着信履歴等から、電話番号を登録する ロ. 受信メール等から、メールアドレスを登録する
	着信履歴やアドレス帳から、電話を発信する	イ. 着信履歴や携帯電話のアドレス帳を開き、発信する
	メールを送信する	イ. 新規メールの作成画面を開き、携帯電話のアドレス帳や履歴からアドレスを選び、メールを作成して、送信する

*利用料金や使用マナー、トラブル防止に関することも、配慮的に指導する。

- ・歩きながら携帯電話の操作や通話はしない。
- ・電車やバスなど、公共の場では、電源を切るかマナーモードにする。
- ・早朝や深夜など非常識な時間に電話やメールをしない。
- ・メールで相手が傷つくようなことは書かない。
- ・他人の写真を撮りたいときには、相手に聞いてから撮る
- ・利用時間や料金を確認して、正しい使い方をしているか振り返る。
- ・携帯電話をなくしたり、わからないことや困ったことがあったりしたら、すぐに保護者に伝える。

〈郵便の利用〉

- ◆ I 段階の児童生徒は、将来的にみても、郵便を利用して生活するということは考えにくいので、指導内容としては設定しないことにしている。

II 段階の児童生徒に望む姿

ハガキや手紙に宛名などを書き、切手を貼ってポストに投函する

- ハガキや手紙を出すときの基本的な仕組みや表示についてを指導し、利用できるようにする。

指導項目	指導内容	具 体 内 容
仕組みの理解	郵便利用の基本的な決まりを守って手紙やハガキを出す	イ. ハガキや封筒の所定の位置に、差出人や宛先の名前、住所、郵便番号などを書く
		ロ. 所定の位置に切手を貼り、ポストを見つけて投函する
表示の理解	ポストの表示を見て、決められた投函口に手紙やハガキを入れる	イ. 郵便局のポストの「はがき・小型郵便」と書かれた投函口に、手紙やハガキを投函する

III 段階の児童生徒に望む姿

- ・ハガキや切手を買って貼り、ポストに投函する
- ・郵便番号がわからないときは調べる

- 郵便物によって料金が違うことを指導し、手紙とハガキを見分けて切手を貼れるようにする。また、切手の入手方法についても指導する。

指導項目	指導内容	具 体 内 容
仕組みの理解	目的、用途に応じたハガキや切手を買う	イ. 使用するハガキを見て、切手を買う必要があるかどうかを見分ける
		ロ. 郵便局やコンビニで、郵便物に見合った金額の切手を購入する
		ハ. 年賀状や暑中見舞いなど目的に応じたハガキを買う
		ニ. インクジェット専用のハガキなど、用途に応じたハガキを買う
郵便物に合った切手を、貼って出す	郵便物に合った切手を、貼って出す	イ. 郵便物に見合った金額の切手を選んで貼り、ポストに投函する
		イ. アドレス帳や相手から届いた手紙やハガキを見て、郵便番号を調べる
郵便番号を、調べて書く	郵便番号を、調べて書く	ロ. インターネットで、郵便番号を調べる
		ハ. 郵便局員に尋ねて、郵便番号を調べる

表示の理解	郵便にかかわる表示を見分けて利用する	イ. 〒の印を手がかりに、郵便局や利用できるコンビニを見つける
応 対	必要なことをきちんと告げて、郵便を利用する	イ. 切手やハガキを買うときには、その種類や枚数を郵便局員や店員に告げる ----- ロ. 料金がよくわからないときは、郵便局で係員に尋ねる ----- ハ. ハガキや定形封筒以外の郵便物に貼るための切手を買うときには、郵便局で係員に尋ねる

*児童生徒の実態と使用頻度を考慮し、速達や小包については指導しない。

〈銀行の利用〉

- ◆将来、銀行を利用する際、直接に受付を通す場合と自動支払機を使う場合、コンビニ銀行を使う場合が考えられるが、いずれも学校での指導が可能であるので、三つの場合を指導する。
- ◆Ⅰ段階、Ⅱ段階の児童生徒には、将来的に銀行を利用することが考えにくいので、指導内容としては設定していない。

Ⅲ段階の児童生徒に望む姿

- ・家の人から頼まれて、〇〇円をキャッシュカードでおろしてくる
- ・自分でいくらお金があるかを考えて、銀行へ行き、キャッシュカードや通帳でお金を引き出したり、たまったお金を銀行に入金したりする

○まず、利用ができるように、表示の理解と仕組みの理解、金銭の使用・管理を取り上げるようにする。次に、困ったときの対応として、応対を取り上げる。さらに、よりよい利用の仕方ということで、時刻・時間を最後に取り上げるようにする。また、通帳の記載内容の意味など、配慮的に指導する。

【銀行窓口利用】

指導項目	指導内容	具 体 内 容
仕組みの理解	お金を預けたり必要に応じて、引き出したりする	イ. 出入金の番号札を取る ロ. 自分の番号が呼ばれるまで伝票を記入しながら待つ（記入が終わったら座って待つ） ハ. 自分の番号が呼ばれたら、指定された番号の窓口に行く ニ. 入金伝票に必要なことを記入して、窓口でお金を預ける ホ. 支払い伝票に必要なことを記入して、窓口でお金を引き出す
金銭の使用・管理	金額を確かめて預けたり、引き出したりする	イ. 扱うお金と金額を確かめる ロ. 通帳や伝票の記載事項を確かめる ハ. 残高を確かめて、引き出す金額を決める
表示の理解	表示を見て、目的に応じた場所に行く	イ. 自動発券機を探して行く ロ. 指定された番号の窓口を探して行く
応 対	係員に質問したり、答えたりする	イ. 係員に記入上わからないことを尋ねる ロ. 係員から記入上の不備について質問されて、答える
時刻・時間	時刻を見て銀行に行く	イ. 営業時間内に窓口に行く

【銀行ATM利用】

指導項目	指導内容	具 体 内 容
仕組みの理解	お金を預けたり必要に応じて、引き出したりする	イ. ATMの画面の指示に従って、タッチパネルを操作してお金を預ける
		ロ. ATMの画面の指示に従って、タッチパネルを操作してお金を引き出す
		ハ. キャッシュカード、お金、(通帳)、明細書をしまってから移動する
金銭の使用・管理	金額を確かめて預けたり、引き出したりする	イ. 扱うお金と金額を確かめる
		ロ. 残高を確かめて、引き出す金額を決める
表示の理解	表示を見て、目的に応じた場所に行く	イ. 自分の用途に応じたATMを選んで並ぶ
応 対	係員に質問したり、答えたりする	イ. (場合によっては設置された電話を使って)係員に使用上わからないことを尋ねる ロ. 機械の不具合があった場合には、(場合によっては設置された電話を使って)係員に伝える
時刻・時間	利用時間に合わせて銀行に行く	イ. 利用時間内にATMへ行く

【コンビニATM利用】

指導項目	指導内容	具 体 内 容
仕組みの理解	お金を預けたり必要に応じて、引き出したりする	イ. ATMの画面の指示に従って、キーを操作してお金を預ける
		ロ. ATMの画面の指示に従って、キーを操作してお金を引き出す
金銭の使用・管理	金額を確かめて預けたり、引き出したりする	イ. 扱うお金と金額を確かめる
		ロ. 残高を確かめて、引き出す金額を決める
表示の理解	表示を見て、目的に応じた場所に行く	イ. ATMを探して行く

指導項目	指導内容	具 体 内 容
仕組みの理解	利用する窓口・ATMを選ぶ	イ. 利用時間、場所、手数料に応じて、銀行窓口、銀行ATM、コンビニATMのいずれかを選択する
金銭の使用・管理	通帳などを管理する	イ. 通帳、印鑑、キャッシュカード、明細書は大切に扱う
		ロ. 暗証番号は他人に教えたり、声に出して言ったりしない